

## 令和7年度広島県地域通訳案内士フォローアップ研修等業務委託仕様書

この契約により業務の委託を受けた者（以下「受注者」という。）は、一般社団法人広島県観光連盟（以下「HIT」という。）との業務委託契約書に基づき、本仕様書に記載された業務内容を誠実に遂行するものとする。

### 1 業務名

令和7年度広島県地域通訳案内士フォローアップ研修等業務

### 2 業務期間

契約締結日から令和8年3月13日まで

### 3 目的

広島に関する深い知識とおもてなし力を持った質の高い広島県地域通訳案内士（以下「地域通訳案内士」という。）の活躍は、広島県のブランド価値を高め、外国人観光客の更なる来訪の増加や評価の高まりに繋がる好循環を生む原動力となり、HITが目指す「何度も訪れたいくなるリピータブルな観光地づくり」の推進に寄与することが期待される。一方で、地域通訳案内士の資格取得後、活躍の機会を得られていない案内士が約5割いることから、本事業を実施し稼働率を6割に向上することを目指すこととする。地域通訳案内士の認知度向上や就業機会の確保、地域通訳案内士の資格取得者の質の向上に務めるとともに県内の観光地で即戦力として活躍できるよう後押しする。

### 4 内容

#### （1）フォローアップ研修

「広島県地域通訳案内士」及び広島県に登録の「全国通訳案内士」の資格取得者（以下、総称して「通訳案内士」という。）を対象に、通訳案内に必要な基礎知識及び能力の維持・向上を図る機会として、最適と思われる講師を提案のうえ、座学及び実地研修を企画提案し、その参加者の調整及び運営業務を行うこと。

※応募要項、選考基準については、HITと協議のうえ基準を設け、応募者が予定人数を上回った場合は、原則選考基準等により受講の可否を決定すること。

#### 【座学研修】

以下のテーマをもとに、広島県の通訳案内士に必要と思われるスキルに基づく内容の研修を提案し、実施すること。

（想定するテーマ）

1. 個人事業主・ガイドとして必要な経理の基礎・応用知識やビジネスマナー
2. ガイディング力向上のためのコミュニケーション・ホスピタリティ・人権研修
3. 広島県の地理・歴史・文化、観光資源とストーリー性のあるスクリプト作り

(実施方法)

- ・研修内容に応じて最適な実施形式（対面もしくはオンライン形式なのか）とともに各研修で想定する定員を提案すること。また、実施形式に関わらず、研修実施後は全ての研修申込者を対象として、その実施内容をアーカイブ映像により配信を行うこと。アーカイブの配信期間は契約期間内を最長とするが、講師及びHITと相談のうえ最終決定すること。
- ・各テーマの所要時間は提案内容に応じて、2～4時間の間で調整をすることとし、最終的な開催日程はHITと相談のうえ決定すること。本仕様書上の4（1）及び4（2）にて実施予定の研修・イベントにおける参加対象が本座学研修と同様の層と期待できる場合、上記研修・イベントと組み合わせて同日に開催することを可能とする。

## 【実地研修】

令和7年11月から令和8年2月の間にHITと相談のうえ、受講者が参加しやすい日程を考慮し、次の3タイプの研修を提案すること。なお、研修対象者は英語及び中国語の通訳案内士資格取得者とし、必要に応じて受講生に対応する言語の講師を手配すること。

### 1. 団体バスツアーにおけるガイドングに必要な能力が学べる研修

(対象者)

- ・団体バスツアーにおけるガイドング経験を磨くことに興味があり、将来クルーズの団体バスツアーなどで活躍できることが見込める者を想定。

(内容)

- ・研修の主な目的は、国内旅程管理主任者資格取得用の実務研修終了証を発行することとし、旅行会社や海外からの観光客に対して有償でガイドをする際に求められるレベルの実践的なガイドング力を習得できるような研修内容にすること。
- ・実施回数を2回（土日祝日と平日に各1回）とし、各回の定員は15～20名を想定すること。

### 2. ガイド初心者向けの能力向上研修

(対象者)

- ・令和7及び6年度の地域通訳案内士育成研修における試験合格者のうち、令和7年度中にガイドデビューを前向きに考えている者を想定。

(内容)

- ・研修目的を県内でガイド需要のある平和公園及び宮島において、有償ガイドとして自信を持って案内できるようになることとし、ガイドデビューに向けて参加者が一歩踏み出すための後押しとなるような研修内容にすること。
- ・平和記念公園及び宮島にて、1日（平日、土日祝日問わない）ずつ実施することとし、各回の定員は15～20名と想定すること。
- ・一般の外国人観光客に対して自ら声掛けをして、無料でガイドを行う（1名あたり

の目安：1時間×2回）こと、グループワークや模擬ガイディングを取り入れる等、緊張感を持ってガイディングの練習ができるよう、工夫をした内容とし、必要に応じて振り返りを行うための会場を別途設けること。

### 3. 稼働中の中堅ガイド向けのブラッシュアップ研修

（対象者）

- ・既に有償ガイドとして稼働をしているが、能力に自信がなく、稼働が不定期である等のように、ブラッシュアップの余地が多分にある者を想定。

（内容）

- ・設定エリア（自由）において、複数名で構成したグループ内で交互に模擬ガイドを実施し、それに対して講師（ネイティブもしくは先輩ガイドや旅行会社等の立場の講師を想定。）が観光客目線による質問や的確なフィードバックを行うことで、現場に求められるガイド能力を磨くことができる研修内容を基本とし、より良い内容があれば提案すること。
- ・各自の足りない能力・課題が浮き彫りとなり、受講者が客観的な自分のガイドとしての評価を知るとともに、今後の強化ポイントを自覚できるような内容にすること。
- ・実施回数は1回（平日、土日祝日問わない）とし、参加者は15～20名を想定。

※なお、実地研修のうち、2. と 3. の研修にはいずれかのみ参加を可能とする。

## （2） マッチングイベント

地域通訳案内士の認知度向上や就業機会の創出を目指して、旅行会社等と連携して、通訳ガイドを必要とする事業者と通訳案内士とのマッチングイベントを企画提案し、その参加者の調整及び運営業務を行うこと。

（対象者）

- ・以下の基準を満たす者を対象者として想定すること。

【ガイド側】各会 30 名程度。（各回への重複参加不可。）

通訳案内士のうち、いずれかの参加事業者においてガイド就業が見込める相当の能力を有しており、参加事業者の希望する就業日時に対応できる見込みのある者。

※選定基準や選定方法については提案の上、HIT と相談し最終決定すること。

【事業者側】目標数 10 社以上。（各回への重複参加可。）

旅行会社、ガイド派遣会社及び観光体験事業者等で、地域通訳案内士の活用に興味を示し、就業の機会を積極的に提供できる者。

（内容）

- ・広島市内の会場にて、2回開催（土日祝と平日に各1回）すること。
- ・イベント当日有意義な商談ができるよう、参加者情報一覧（ガイド側の得意分野や資格情報・実績、事業者側の求める人材や業務内容等。）を作成し、参加する当事者に事前に共有できる方法を提案すること。
- ・ガイド側の希望者には、イベントで効果的に利用できる名刺を作成のうえ、100枚配布

するとともに印刷用の電子データを提供すること。

- ・マッチングイベントの開催日から契約期間内にかけてのマッチングの状況を、参加した事業者側から可能な限りヒアリングを行い、回答をまとめるとともに、その成果や今後の課題について、HIT に報告すること。

### (3) アンケート調査

地域通訳案内士の現在の稼働状況やニーズを正確に把握するために、アンケート調査を実施すること。

(1) 及び(2)の研修・イベント申込者に対して、その申込時にガイドの稼働状況とガイド活動をするうえでの困りごと等を確認するための簡単なアンケートを実施し、集計・分析をしたうえで、データを HIT へ提出すること。アンケートの最終的な内容や実施方法については、HIT と協議のうえ行うこと。

## 5 留意事項

(募集業務)

- ・参加関係者の募集は、申し込み締め切りまでに十分な余裕を持って募集要項を作成・案内し、定員を確保すること。
- ・参加者の募集案内から申込受付はメール等により行い、申込者のリストについてはそれぞれエクセル表により管理すること。
- ・参加者の選考は、参加資格要件を満たしていることを確認することとし、参加可否の決定通知は申込者全員に対し、メールにて送付すること。
- ・募集人員に届かないことが想定される場合は、予算内で実施できる集客に向けた提案を行い、HIT と相談のうえ、参加者を募ること。

(運営業務)

- ・運営全般、準備、会場設営、出欠管理・案内及び誘導等を行うこと。
- ・資料の調整、会場料の支払等、その他実施にあたり、関係先との調整を行うこと。
- ・実地研修を観光地等で実施する場合は、観光地等を管理する者からの了解を得るとともに、研修受講者や観光客の安全に十分配慮すること。また、参加者が全員傷害保険に加入するよう手配を行うこと。
- ・本業務で実地研修もしくはイベントを実施するにあたり、天災等で開催が中止となる場合に備え、予備日を1日設定し、必要時に応じてあらかじめ会場を確保し関係する参加者に連絡すること。

(受講・参加料)

- ・研修参加に係る経費として、本仕様書上の4.(1)の研修参加者からは最大10,000円/人、4.(2)のイベント参加者から最大5,000円/回を徴収することを認める。

※集合場所までの交通費は受講者各自による負担とする。

- ・研修希望者に対し、受講・参加料の額、納入方法並びに返還について十分に説明し、参加前までに納入させ、領収書を発行すること。

・一旦納入された受講・参加料については、原則返還は行わない。但し、天災・感染症等拡大防止のためなどのやむを得ない事情により研修実施が不可能となった場合は、HIT と協議のうえで返還を行うものとする。

・徴収した参加料は、委託料とは別に事業運営費に盛り込んで事業を行うことができるものとし、その金額については、明記すること。

## 6 成果品

本業務を踏まえ、業務実績報告書(各研修・イベントへの出席者情報一覧、アンケートの集計・分析結果、研修毎の実施内容や得られた成果・課題・来年度への改善提案を含む。)をデータにて提出すること。なお、実績報告書には契約時に提出した見積書を参考に本研修等の実施に係る収支実績を記載すること。

納品日：令和8年3月13日(金)まで

## 7 その他

- (1) 契約の締結、本業務の履行に関して必要な費用は、特段の定めがない限り、すべて受託者の負担とする。
- (2) 本業務の実施に当たっては、進捗状況を適宜報告し、各関係機関等との連絡調整を十分に図ること。また、業務の遂行状況を鑑み、定期的かつ必要に応じて情報共有しながら、本業務を実施すること。
- (3) 本契約の範囲内において、本仕様書に記載のない事項についてはHITと協議し、決定すること。
- (4) 作成した資料等のデータの著作権はHITに帰属する。
- (5) 感染症対策は基本実施しないこととするが、感染状況に応じて、HITと相談の上、対策を講じること。